

消防本部隣接地の取得等事業費について

平成28年中の取得に向けて手続きを進めている消防本部隣接地の不動産鑑定評価が完了したとともに、取得後、駐車場整備を実施できる見込みとなりましたので報告します。

なお、当該事業費につきましては、平成28年第3回定例会にて補正予算案として上程する予定であります。

1. 平成28年度事業概要

(1) 用地取得及び駐車場整備費 総額 38,000千円程度

(2) 事業用地

所在地	地目	数量 (㎡)
恵庭市有明町2丁目280番	宅地	501.24
同上 281番	宅地	1218.32
合計	-	1719.56

2. 平成29年度以降の用地活用計画

消防施設における課題解消のため、主に次に掲げる用地活用の検討を進めます。

(1) 自家給油取扱所給油空地の拡張

消防車両の大型化に伴う消防本部自家給油取扱所の使用制限を解消する。

(2) 消防格納庫の設置

消防施設の狭隘化の解消と迅速な出動体制を構築するため、災害備品等を備蓄する。

3. スケジュール

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H28					不動産鑑定		補正予算			用地取得・ 駐車場整備			
H29 H30		用地活用（給油取扱所給油空地拡張、消防格納庫設置等）											

危険物安全週間期間中の消防訓練について

1. 危険物安全週間

ガソリン、灯油、軽油などの燃料や、塗料、プラスチック、化学繊維などの原料となる危険物は、私たちの生活の中で身近な存在であり必要不可欠なものです。しかし、誤った使い方をしたために大きな事故を招くこともあり、危険性を認識した上で、安全に取り扱うことが重要です。

危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立及び充実を図るため、毎年6月の第2週を危険物安全週間とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しています。

消防本部では、毎年消防機関と恵庭市危険物安全協会と連携して合同訓練を実施しています。

2. 期間

平成28年6月5日（日）～6月11日（土）7日間

3. 訓練概要

- (1) 日時 平成28年6月8日（水）13時30分
- (2) 場所 北陽紙工株式会社 北柏木町3丁目122番地
- (3) 危険物施設 給油取扱所（自家用）
- (4) 内容 給油中の車両から軽油が流出し火災に発展したものの
119番通報訓練
危険物流出处置訓練
初期消火訓練
消防隊放水訓練
- (5) 参加人員 北陽紙工株式会社 8名
危険物安全協会 10事業所30名
消防職員 13名

2016年(平成28年)6月9日(木曜日) <第3種危険物22号>

千 載 民 報

市危険物安全協と消防本部 軽油流出想定し訓練

恵庭市危険物安全協会（上）を行った。
05事業所、玉川豊泰と、両者は毎年6月第2週の危
市消防本部は8日、紙加丁の 険物安全週間に合わせ、会員
北陽紙工札幌事業所（北柏木 事業所の持ち回りで訓練を行
町、初谷弘所長で消防訓練 っている。訓練は同社員、



消防職員ら13人が参加し、加
盟事業所から約30人が訪れて
見学した。

訓練は同事業所の敷地内に
ある給油取扱所で、給油中の
車両が移動して給油ホースノ
ズルが外れ、軽油が流出して
火災も発生した想定で繰り返
げた。

社員は軽油の流出地点に吸
着マットを敷き、消火器で初
期消火するなどをききひきとし
た動き。消防隊も化学車を出
動して消火するなど、本番さ
ながらの訓練を繰り返した。

訓練後も消防職員が危険物
施設の点検要領を説明し、見
学者を対象にした消火器訓
練、屋外消火栓のホース延長
などを行った。

あいさつで初谷所長は「安
全で事故を起こさない職場の
実現にまい進したい」と強調。
講評で消防本部の梅老康浩予
防課長は「危険物はひとたび
事故を起こすと大きな被害に
なる」と注意を促した。

（お断り）企画10年の歩み
・えりん村」は休みます。

【職場体験学習】

働くことの厳しさを体験する中で、自己を見つめ、将来の進路並びに自己実現に向けて一つの手だてとして、多くの人たちとふれあいを通し、礼儀作法を学び豊かな人間の育成をはかると共に努力する態度を養うことを目的として実施しています。

実施内容～施設及び車両・資器材の説明と展示、救急実技、着装・放水・ロープ結索訓練

名 称	実施日 平成 27 年度	参加人数 (引率者を含む)	実施日 平成 28 年度	参加人数 (引率者を含む)
恵明中学校 2年生	7月14日	6名	8月23日	6名予定
恵庭中学校 2年生	10月26日	5名		
合 計	2回	11名		

【インターンシップキャリア教育】

就職希望者を中心に望ましい勤労観や職業観などの育成や習得、責任感・積極性・協調性・礼儀など勤労者として必要なマナー・態度を体得することを目的として実施しています。

実施内容～施設及び車両・資器材の説明と展示、救急実技、着装・放水・ロープ結索訓練

名 称	実施日 平成 27 年度	参加人数 (引率者を含む)	実施日 平成 28 年度	参加人数 (引率者を含む)
恵庭北高校 2年生	9月28日	1名	9月27日	予 定
恵庭南高校 2年生	11月11日	9名	10月26日	予 定
合 計	2回	10名		

※ 平成28年度については7月31日現在で算出（予定を含む）。

【その他】

- ・わくわくお仕事体験、えにわん産業祭、サッポロビールおんこ祭等に参加し車両展示や写真撮影などを実施。
- ・納涼花火大会では消防車両2台にて漁川（右岸・左岸）の警戒業務を実施。
- ・小学校3、4年生が使用する社会科副読本改定のため、消防車両・資器材・訓練風景等の写真や出動件数などを提供し協力を実施している。

消防庁舎見学・職場体験等について

【庁舎見学】

小学4年生は社会科学習の一環として、消防・防災のため様々な活動や施設について調べる事を通して、関係する機関の人々が相互に協力・連携をしながら安全を守っていることを理解してもらい、自分のできることは何かを考えることを目的として実施しています。

また、小学2年生は消防や防災に興味や関心のある生徒が自主学習として施設見学を実施。

実施内容～施設及び車両・資器材の説明と展示、119番通報要領、質問コーナー。

名 称	実施日 平成 27 年度	参加人数 (引率者を含む)	実施日 平成 28 年度	参加人数 (引率者を含む)
恵み野小学校 4年生	4月21日	32名	5月 6日	44名
柏小学校 4年生	5月21日	91名	5月20日	91名
恵庭小学校 4年生	6月16日	115名	6月21日	139名
恵み野旭小学校 4年生	6月22日	53名	6月28日	56名
若草小学校 4年生	6月26日	79名	7月 1日	98名
松恵小学校 4年生	7月23日	18名	7月 8日	20名
島松小学校 4年生	8月27日	63名	6月14日	57名
和光小学校 4年生	5月12日	177名	5月16日	170名
和光小学校 2年生	7月 2日	19名	5月15日	12名
合 計	9回	647名	9回	687名

和光いきいきクラブ、恵庭地区恵寿クラブは年配の参加者が多数であるため、施設及び車両・資器材の説明と展示、119番通報要領の実施を行っています。

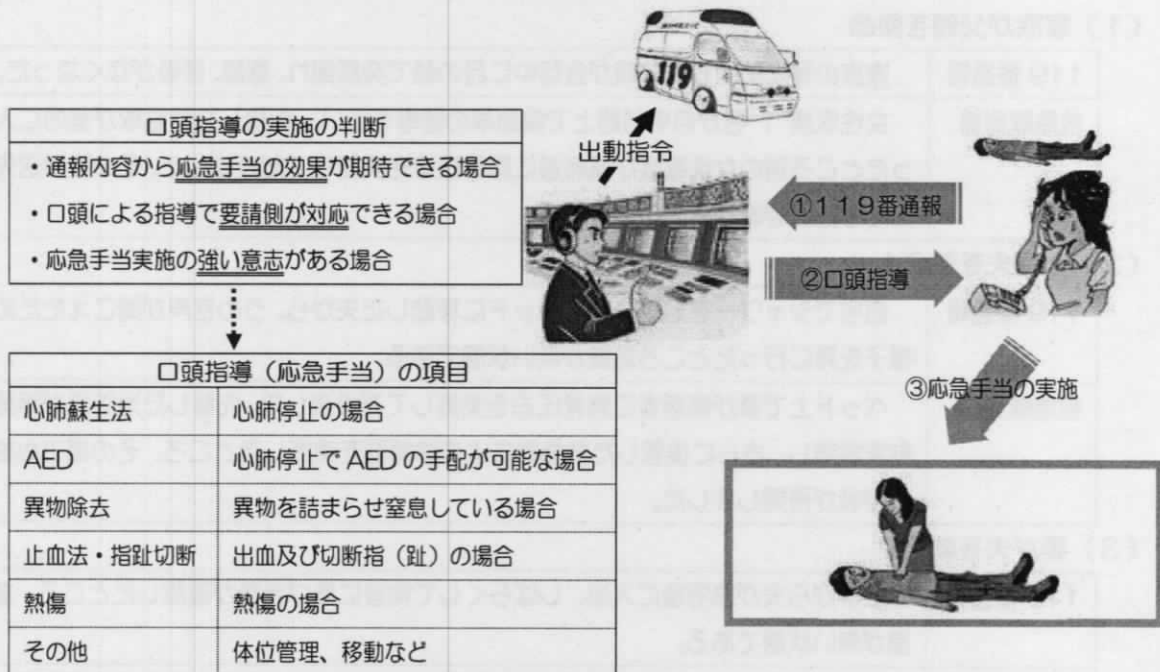
子育て支援センター島松、すみれ保育園については、幼児が多数であることから車両の展示、車両前での記念撮影を実施し、親には119番通報要領の実施を行っています。

名 称	実施日 平成 27 年度	参加人数 (引率者を含む)	実施日 平成 28 年度	参加人数 (引率者を含む)
子育て支援センター島松	6月 2日	30名	6月 7日	22名
	9月 8日	37名	10月25日	予 定
	2月23日	28名		
和光いきいきクラブ	6月17日	33名		
恵庭地区恵寿クラブ	9月 7日	25名		
すみれ保育園	9月17日	62名		
合 計	6回	215名	1回	22名

救急要請受信時の口頭指導とその成果について

口頭指導とは、さらなる救命効果の向上に資することを目的として平成 12 年 4 月 1 日より当本部で開始しており、119 番通報者又はその場に居合わせた者(バイスタンダー)に対して、救急隊等が現場到着するまでの間、指令員がその通報内容から傷病者の救命等のため応急手当が必要と認める場合に、その通報電話を通じて適切な応急手当の実施方法を指導、伝達するものであります。

1 119番通報から口頭指導、応急手当の実施まで



2 口頭指導による応急手当の実施者（バイスタンダー）の主な留意点

(1) 応急手当の継続

心肺蘇生法での胸骨圧迫（心臓マッサージ）は、絶え間なく実施することが救命に大きく影響するため、救急車が現場に到着し救急隊員の指示があるまで応急手当は中断することなく継続する。

(2) 感染防止の対策

出血に対する応急処置は、血液からの様々な感染への防止対策としてゴム手袋やビニール袋などを準備の上、実施する。

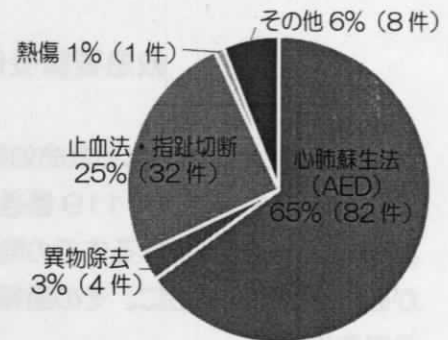
(3) 指令員との継続的な通話

指令員は傷病者の状態変化の把握や継続的な応急手当の実行支援などを目的としているため、携帯電話や固定電話のスピーカー機能などの活用により、可能な限り傷病者のそばから離れない通報方法で行い、救急車等が現場に到着し救急隊員等と接触するまで指令員との通話は切断しない。

3 口頭指導の実施件数

	平成25年	平成26年	平成27年
災害受理件数	2066件	2039件	2358件
口頭指導実施件数	103件	137件	127件
心肺蘇生法 (AED)	69件	77件	82件
異物除去	5件	2件	4件
止血法・指趾切断	25件	38件	32件
熱傷	0件	1件	1件
その他	4件	19件	8件

＜平成27年 口頭指導項目の実施割合＞



4 バイスタンダーにて心肺蘇生法実施による救命事例（口頭指導の成果）

(1) 家族が父親を救命

119番通報	家族の家に訪問した父親が会話中に目の前で突然倒れ、意識、呼吸がなくなった。
救急隊到着	女性家族1名が自宅前路上で救急車の誘導を行い、到着した救急隊が室内に入ったところ別の女性家族が傷病者に胸骨圧迫を実施しておりました。その後搬送先にて心拍と呼吸が再開しました。

(2) 妻が夫を救命1

119番通報	自宅でシャワーを浴びた後にベッドに移動した夫から、うめき声が聞こえたため様子を見に行ったところ意識が無い状態である。
救急隊到着	ベッド上で妻が傷病者に胸骨圧迫を実施しておりました。先着した消防隊が除細動を実施し、さらに後着した救急隊により除細動を実施したところ、その場で心拍と呼吸が再開しました。

(3) 妻が夫を救命2

119番通報	散歩から夫が帰宅後に入浴、しばらくして物音に気づき妻が確認したところ、意識が無い状態である。
救急隊到着	救急隊が傷病者に接触したところ脱衣所で、妻が胸骨圧迫を実施しておりました。救急隊にて除細動など救命処置を実施しながら、搬送先病院へ向かう救急車内で心拍と呼吸が再開しました。

(4) 夫が妻を救命

119番通報	自宅で朝起きたら妻の意識が無い状態である。
救急隊到着	寝室で夫が心肺蘇生法を実施しておりました。その後搬送先にて心拍と呼吸が再開しました。

(5) スポーツ大会関係者が救命

119番通報	プロゴルフトーナメント観戦中の男性が心肺停止になった。
救急隊到着	コース外草地に倒れており、大会関係者により心肺蘇生法と除細動を実施しており、救急隊が到着する前にその場で心拍と呼吸が再開しました。